

# 施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実

(基本施策) (2) 安心して産み育てられる環境づくりの推進

(評価担当者)

健康福祉部長 井分 信次

## 基本施策が目指す姿

子育て世帯が、周りに支えられながら、安心して子どもを育てています。

## 関連する分野別計画

亀山市子ども・子育て支援事業計画

## 成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	出生数	人	455	H27	371	411				465
2	子育て支援センター利用者数	人	34,932	H27	35,224	33,638				37,000
3	低年齢児(3歳未満児)の待機児童数	人	6	H28	3	6				0
4										
5										

## 市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1 子育ての相談、保育等が充実して利用しやすい	重要度	1.32	1.26	重要度については2項目とも前回調査より下がってはいるものの、満足度については大きく上がっており、それぞれの平均値(重要度1.10、満足度-0.18)からすると、相対的に重要度も満足度も高い状況である。これは、子育ての相談体制の充実や待機児童対策、また新たに設置した「子育て世代包括支援センター」による妊娠期から幼児期までの切れ目のない育児支援等の効果の一端が現れたものと考えられる。
	満足度	0.05	0.11	
2 地域の見守りの中で、子どもを健やかに育てられる環境が整っている	重要度	1.40	1.34	
	満足度	0.13	0.19	
3	重要度			
	満足度			
4	重要度			
	満足度			
5	重要度			
	満足度			

## 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
<b>B</b> まずまず進んでいる	安心して産み育てられる環境づくりに向けて、重要な柱である妊娠期から幼児期までの継続的な育児支援においては、平成30年度からの「子育て世代包括支援センター」による子育て支援体制の充実や未就学児を対象とする医療費の窓口無料化、また、子育てが孤立しない環境として、悩み等の相談に対してワンストップで的確に対応する等子育て支援に成果を上げている。さらに、出会い・結婚から定住への支援については、出会いの機会づくりや継続した子育て情報の発信等が進んでいる。 一方、ニーズの高い低年齢児の保育施設(認定こども園)の整備は、十分な成果をあげることができていないものの、全体の進捗状況から総合判定をBとした。

## 反省点・課題

人口減少社会が進展する中、女性の社会進出や共働き家庭の増加により保育ニーズが高まり、保育所や認定こども園において低年齢児(0歳~2歳)の待機児童が発生している。市内2か所の小規模保育事業施設や待機児童館を活用しているものの解消には至っていない。また、放課後児童クラブについても、利用率が高まり毎年のように新增設等整備を行っているが、大規模校を中心に飽和状態になっている校区があることから、中長期的な展望により計画的な対応が求められる。

一方、子育て支援センターを中心とした親同士の情報交換や悩みの相談、子育て講座の開催等様々な支援策を子育て世代に対して効果的・効率的に届けるため、情報発信・PRを強化していく必要がある。

## 今後の展開方針

保育ニーズに対応する新たな認定こども園について、地元自治会の意見を丁寧に聴きながら地元との協議・調整を進める。また、放課後児童クラブについては、今後の利用見込みの推移や保護者の就労動向を見据えた整備の方向性を検討するとともに、利用者が特に集中する長期休暇における居場所事業を強化し、待機児童を出さないための取り組みを進める。さらに、子どもの良質な生育環境の確保に向けた「子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めるとともに、10月からの幼児教育無償化に際しては、十分な準備を行い適切かつスムーズに実施していく。一方、子育てや発達相談においては、保健・福祉・医療・教育のネットワークを生かした総合相談を進めるとともに、子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠期からの切れ目のない支援の充実と、SNS等を活用した子育てに関する情報発信の強化を図る。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 健やかに産み育てられるための支援の充実							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	平成30年4月に「子育て世代包括支援センター」を設置し、これまでの母子保健事業に加えて、退院直後の母子に対し、新たに産婦健診や心身のケア・育児のサポートを行う等産後も安心して子育てができる支援体制を強化した。	評価				「子育て世代包括支援センター」を立ち上げ、関係部署や医療機関等と連携して妊娠期から幼児期までの切れ目のない支援を行うことや、医療費の窓口無料化による経済的負担の軽減等により、健やかに産み育てられるための取り組みを進めている。
		また、9月からは未就学児を対象とした福祉医療費助成の窓口無料化を実施した。					
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17083	福祉医療費助成事業(子ども)	主	200,072 / 194,155		A	A
	17085	不妊・不育症治療費助成事業	主	5,900 / 5,009		A	A
	17086	かめやまげんきっこ育成事業	主	1,500 / 1,184		B	B
	18003	子育て世代包括支援事業	主	73,089 / 64,800		B	B
	3049	児童手当給付事業(出生祝金)	標	1,800 / 1,740		A	B
	3037	一般事業(児童福祉一般事業)	標	5,940 / 4,816		A	A
	3009-3	地域団体支援事業(母子寡婦福祉会)	標	428 / 425		A	A
19004	私立学校等助成事業	標	39,333 / 38,943		A	A	
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向 就学前教育・保育施設の再編・整備							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
C	活動	就学前教育・保育施設の再編については、亀山幼稚園及び第一愛護園を統合する認定こども園整備事業について、地域との協議を行った。	評価				新たな認定こども園整備に向けては、地域との協議を重ねることで、事業への一定の理解を深めることができたものの、一方で課題への対応が必要となっている。また、将来的な施設再編については、長期的な視点での施設再編に向けた検討を進めている。
		市全体としての施設再編については、子ども・子育て支援事業計画の策定の中で、将来的なニーズ量の算出のための基礎分析を行った。					
あまり進んでいない							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17087	認定こども園整備事業	主	0 / 0		C	C
事業以外の取組	内容					活動	成果
	第 期亀山市子ども・子育て支援事業計画策定					B	B

施策の方向 子育てが孤立しない環境づくり							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	子ども総合相談では、実入員で667人、延べ1,593件に対応した。相談の場には、保護者だけでなく、日々関わっている園や学校の先生も同席し、子どもの状態や特徴を共通理解した上で、関係者と連携しながら支援を行った。また、児童虐待の対応においても、警察や児相等で構成する協議会を中心に地域や関係者と連携した対応を執った。	評価				子ども総合相談においては、心理・教育・保育等の専門スタッフが相談を受け、保健・福祉・医療・教育等の関係機関と連携し対応することで、丁寧で適切な支援に繋がっている。また、官民の子育て支援センターにおける親同士の交流や情報共有等により、子育てが孤立しない環境づくりを進めることができている。
順調に進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	3176	児童家庭支援事業	標	11,088 / 10,706		A	A
	3180	療育相談事業	標	3,994 / 3,540		A	A
	3132	要保護児童対策事業	標	153 / 100		A	A
	3115	児童短期入所生活援助事業	標	398 / 221		A	A
	3084	地域子育て支援センター費	標	30,761 / 30,605		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向 仕事と子育てが両立できる環境づくり						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B まずまず進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 就学前児童には保育所、認定こども園、待機児童館等での対応により、教育・保育環境の充実に取り組み、就学後においては、新たに公設で整備した昼生小学校区を初めとする放課後児童クラブや長期休暇こどもの居場所事業等により子どもの居場所を確保した。また、会員組織で一時的に預かるファミリーサポートセンター事業等により、きめ細かな支援を行った。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 就学前の保育所等において待機児童は減少傾向にあり、また、就学後の放課後児童クラブにおいては保護者間の利用調整はあるものの待機児童は発生しておらず、子どもの居場所の確保は図られている。 一方、こうした行政サービスの隙間を埋めるファミリーサポート事業では、会員や利用も増加する等仕事と子育てが両立できる環境づくりを進めている。		
		番号		事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]
関連事業	17088	放課後子ども教室推進事業	主	14,490 / 13,423	A	B
	17089	長期休暇子どもの居場所事業	主	3,860 / 3,534	B	B
	17090	放課後児童クラブ事業	主	158,003 / 149,594	A	A
	3159	ファミリーサポートセンター事業	標	4,543 / 4,543	A	A
	3042	民間保育所補助費	標	13,622 / 10,881	A	A
	3179	施設管理費(待機児童館費)	標	42,295 / 40,961	A	A
	3053	施設整備費(保育所費)	標	7,808 / 7,490	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向 出会い・結婚から定住への支援						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】			
B まずまず進んでいる	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 市主催の婚活イベントを2回開催するとともに、市民団体主催の婚活イベント1件に補助金交付を行った。 また、シティプロモーション専用サイトにおいて、移住・定住等に繋がる地域情報の充実を図るとともに、当サイトの子育て世代の利用促進のため、幼稚園・保育園へのチラシ配布やフリップサポーターの活用等を行った。	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】 出会い・結婚を望む人に対する出会いの機会を提供する取組をはじめ、シティプロモーション専用サイトを通じた子育て関連情報の継続的な発信、子育て世帯への加算を含む居住誘導区域内における住宅取得支援事業の第2次実施計画への位置付け等により、関連施策の推進が図れている。		
		番号		事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]
関連事業	17091	婚活支援事業	主	2,100 / 1,747	B	B
	17100	シティプロモーション推進事業	主	2,650 / 2,090	A	B
事業以外の取組	内容				活動	成果